

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 3 月 5 日 (2015.3.5)

【公開番号】特開 2013-257622 (P2013-257622A)
 【公開日】平成 25 年 12 月 26 日 (2013.12.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-069
 【出願番号】特願 2012-131774 (P2012-131774)
 【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 7 D 9/00 4 5 6 B

G 0 7 D 9/00 4 2 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 15 日 (2015.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

現金処理状況を表示する表示部と、
 処理すべき現金を搬送するための現金搬送路と、
 前記現金搬送路内における現金の有無を検出するための光学センサを有する現金処理装置において、

前記光学センサは前記現金搬送路に略直交する方向に光軸を有する発光素子と受光素子により構成し、前記受光素子の出力値を所定の出力基準値と比較することにより前記現金搬送路における現金の有無を判断する制御部を配置し、

前記制御部は更に、

装置起動時に前記受光素子の出力確認を行い、

前記受光素子の前記出力値が前記出力基準値より低い場合には、前記発光素子への電力供給量をその最大定格値まで段階的に変化させ、前記受光素子の前記出力値が前記基準値内になったときの前記発光素子への前記電力供給量がその最大定格値に近い場合には前記光学センサのメンテナンスが必要と判断し、

前記表示部に前記メンテナンスを指示する表示を行うことを特徴とする現金処理装置。

【請求項 2】

前記メンテナンスの要否を判定するためのメンテナンスカウンタを設け、

前記制御部は、

前記発光素子への前記電力供給量が前記最大定格値に近く、前記光学センサのメンテナンスが必要と判定したときには、前記メンテナンスカウンタを積算し、

前記発光素子への前記電力供給量が前記最大定格値に対して余裕があると判定した時には、前記メンテナンスカウンタをクリアし、

積算した前記メンテナンスカウンタ値が所定値に到達したとき、前記表示部に前記メンテナンスを指示する表示を行うことを特徴とする請求項 1 記載の現金処理装置。

【請求項 3】

前記表示部は、可視光を発する発光体により構成し、

前記制御部は、

前記発光体に供給する電力を段階的に変化可能とし、

前記メンテナンスを指示する表示は前記発光素子に供給する前記電力供給量に応じて前記発光体の発光輝度を変化させることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の現金処理装置。

【請求項 4】

前記表示部は、可視光を発する発光体により構成し、

前記制御部は、

前記メンテナンスを指示する表示は前記発光素子に供給する前記電力供給量に応じて前記発光体の発光周期を変化させることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の現金処理装置。

【請求項 5】

前記表示部は、可視光を発する発光体により構成し、

前記制御部は、

前記メンテナンスを指示する表示は前記発光素子に供給する前記電力供給量に応じて前記発光体の発光色を変化させることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の現金処理装置。

【請求項 6】

音声を出力する音声発生部を設け、

前記制御部は、

前記発光体の変化に加え、前記音声発生部からの出力を変化させることを特徴とする請求項 3 乃至 5 いずれか一記載の現金処理装置。